

# ステップアップロシア語

科目責任者：竹 内 高 明（基本医学）

## I. 前 文

本講座は、ロシア語の基礎課程を修了した後、さらに進んだスキル（文法・読解・聴解・会話など）を身につけることを希望する学生を対象として開講する。具体的な内容・教材は、履修者の希望に応じて選定する。

## II. 受入可能人数

人数は特に制限しない。

## III. 担当教員

竹 内 高 明（基本医学）

## IV. 学習内容

履修者の希望に応じたテーマのテキストや視聴覚資料を用い、生のロシア語に触れながら、能動的コミュニケーション能力を高める。基礎課程で触れなかった文法項目については適宜解説する。事前・事後学習を課し、各授業の初めに簡単な確認テストを行う。

実施スケジュールについては、履修者の便宜を図り、参加が可能な時間帯・日程を設定する。

## V. 学修の到達目標

1. ロシア語の基礎的文法知識と語彙を復習し、定着させる。
2. ロシア語による様々な場面での日常会話能力を向上させ、簡単なメールが書けるようにする。
3. さらに継続してロシア語を学ぶためのスキルを習得する。

## VI. 成績評価の方法・基準

学習内容に即して各授業の初めに行う確認テスト（各回10分程度）30%、口頭試験（一人15分程度）40%、課題の提出状況や出席を30%として評価する。

## VII. 使用する教材・資料など

履修者の希望に応じて教材（読解テキスト・視聴覚資料）を選定し、必要に応じてプリントを配布する。

## VIII. 質問への対応方法

授業中に受け付けるほか、語学・人文教育部門室（本部棟3階）でも対応可。後者の場合は、事前に内線番号2161、またはメールアドレス [t-take@dokkyomed.ac.jp](mailto:t-take@dokkyomed.ac.jp) を通じてアポイントを取ること。

オフィスアワー：月～金 9:00～17:00

## IX. 求められる事前学習、事後学習及びそれに必要な時間

授業で用いる読解テキストや視聴覚教材を事前に読みまたは視聴し、語彙や文法事項の確認を行う（20分程度）。授業の内容に即して与えられる書面または口頭の課題を準備し、確認テストに備える（20分程度）。

## X. コアカリ記号・番号

PR-03-01-01 人の生命に深く関わる医師に相応しい教養を身につける。

CM-02-01-01 患者や家族の多様性（高齢者、小児、障害者、LGBTQ、国籍、人種、文化・言語・慣習の違い等）に配慮してコミュニケーションをとることができる。

SO-06-01-03 個や集団に及ぼす文化・慣習による影響（コミュニケーションの在り方等）を理解している。

XI. 課題（試験やレポート）に対するフィードバックの方法

課題や確認テストについては添削・返却し、授業中に解説する。

XII. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

\*◎：最も重点を置く DP ○：重点を置く DP

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	
<b>医師としてのプロフェッショナリズム</b> 幅広い教養，利他の精神，医師に求められる品格を身につけ，豊かな人間性を育み，他の医療者と協調して，多様な価値観を尊重する全人的な医療を実践できる	◎
<b>能動的学修能力</b> 医学知識・技能を主体的に学び，情報・科学技術を活用して，生涯にわたって自ら問題を発見し，解決することができる	○
<b>地域医療の理解</b> 地域社会における医療の役割と，その中核を担う意味を理解できる	
<b>国際性</b> 国際社会における医学・医療の動向や課題を理解し，課題解決に向けて行動することができる	○
<b>リサーチマインド</b> 研究活動における積極的な創造・発信に挑み，医学・医療の進歩に貢献することができる	

一学年